

工管宇

官公需適格の証明取得

受注機会確保へ活動強化

宇都宮市管工事業協同組合（和田均理事長）は3月8日付で、関東経済産業局長から官公需適格組合証明書の交付を受けた。有効期間は2021年3月9日～24年3月8日の3年間。和田理事長は「組合員91社の受注機会の確保、経営基盤の安定を目指し、制度の活用を図りたい」と話し、行政機関の制度導入に向け働きかけていく考えを示した。

官公需適格組合は、中小企業による官公需（国や地方公共団体等による物品購入や工事発注など）の受注機会増大を図る制度。官公需の受注に對して意欲的であるとともに、受注した案件は責任を持って納入できる経営基盤が整備された組合

であること、中小企業が証明する。同組合の取得を受け、県内の官公需適格組合は13組合となり、その中には栃木市公認管工事業協同組合、大田原管工事業協同組合も含まれている。

証明取得は約10年前から話題に挙がっていたが、同組合は18年に勉強会を発足。県中小企業団体中央会の支援を受けながら慎重に準備を進め、2月5日に開かれた臨時総会で組合員の意思を確認した上で、満を持しての申請に踏み切った。

今回取得したのは「物品納入等」に関する証明。同組合は役務で受注実績を残し、2年後には工事での証明取得を視野に入れる。また、県内の官公需適格組合と協議会を組織し、連携しながら行政への要望活動を展開する書写真も描いている。

和田理事長は「全国の同業組合が、この制度により国や独立行政法人、市町等から多くの業務を受注している。宇都宮市も早期に制度を導入し、地元中小企業の受注機会を確保してほしい」と期

望する一方、災害時等を想定した応急復旧訓練を地域の守り手としての役割を果たしていきたいと述べた。

国道河川常陸

河川災害緊急対策で協定

被害拡大防止や早期復旧へ

国土交通省常陸河川国道事務所は、災害時における河川災害緊急対策業務（工事）に関する協定を38社と締結した。期間は2021年4月1日～24年3月31日の3年間。協定は、同事務所が管理する河川管理施設等において、災害発生の際がある場合および災害の緊急対策の必要性が生じた場合に、被害拡大防止と被害施設の早期復旧を図ることを目的に締結されたもの。

- 【久慈川下流出張所管】建設▽鉦縫工業▽根本工内（久慈川川河口）12km、務所▽ネモト建設工業▽里川川久慈川合流点（9.5km）
- 【久慈川上流出張所管】建設▽小林建設▽常陸建設内（久慈川川12km）31km、山田川川久慈川合流点
- 【久慈川上流出張所管】建設▽梅原工務店▽金成重機

国交省

インフラメンテナンス

5月17日まで

国土交通省は、第5回インフラメンテナンス大賞の募集を開始した。応募期間は5月17日まで、応募書類をWebフォーム（<https://www.im5-award-form.jp/>）からエントリーする。

インフラメンテナンス大賞は、国のインフラが直面する老朽化や担い手不足の問題に対応して、現場における工夫やメンテナンスを支える活動に加え、インフラメンテナンスの効果的・効率的な

那須縦走登山道を第1

日光と尾瀬で3工事

関東環境事務所は、3月期の発注予定工事（250万円超）を公表した。2020年度第3次補正予算で追加されたもの

④第1四半期
▼那須高原園地（平成の森）園路復旧工事（那須町湯本）
①自然環境共生工事②3カ月③歩道整備工事④第1四半期

【尾瀬国立公園】
▼尾瀬沼南岸線歩道工事（群馬県片品村戸倉）
①自然環境共生工事②6カ月③木道整備工事④

【日光国立公園】
▼那須連山主脈縦走路歩道工事（那須町湯本）



和田均理事長が証明書を手にしている様子

成の森園路復旧工事の2件を第1、尾瀬国立公園では尾瀬沼南岸歩道改修を第2、四半期に発注する。

入札予定時期、▼一般競争入札
【日光国立公園】
▼那須連山主脈縦走路歩道工事（那須町湯本）

宇都宮で9月